都市基盤検討WGにおける検討内容

主な検討事項 [賑わい・滞在空間] [次世代モビリティ]

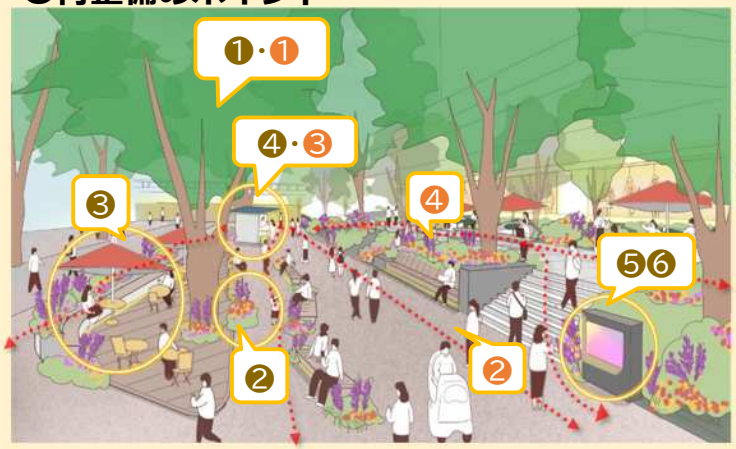
資料４

● 道路空間及び公開空地・建物低層部等の沿道街区の一体的な再整備・活用等を促進するため、道路や沿道街区の特性を踏まえ、街路ごとに道路空間や沿道街区における施設等のデザイン、配置等の検討を行う

賑わい・滞在空間　沿道街区低層部と一体となった、道路内の賑わい・滞在空間

西新宿地区再整備ガイドライン

〇再整備のポイント



❶まちの風格や緑陰を生み出す高木の活用
❷みどりを感じられる空間の創出
❸親しみやすい滞在空間の創出
❹賑わいや交流を生み出すラボ機能等の配置
❺分かりやすい案内情報等の発信
❻Wi-Fiなどの通信環境の整備

【西新宿グランドモールの空間イメージ】
❶風格や緑陰を生む高木の活用
❷歩道と沿道が連続した舗装（歩道レベル）
❸統一感のあるファニチャーや建築物（歩道レベル）
❹街区ごとの個性ある沿道景観の創出（主に基壇部）

次世代モビリティ　自動運転車、パーソナルモビリティの導入

西新宿地区再整備ガイドライン

〇次世代モビリティの導入に向けた取組

・次世代モビリティの導入については、行政や地元まちづくり団体、交通事業者等が連携して取り組む
・4号街路においては、道路の再編に合わせた自動運転バス等の導入に向け、運用方法や運行計画等を検討するとともに、関係者との協議・調整や実証実験等による検証に取り組む
・回遊軸やその他街路においては、街区間の回遊性を高める自動運転車などの将来的な導入を推進
・歩行者を支援し、街区間の回遊性を高めるパーソナルモビリティの導入を推進

都市基盤検討WGにおける具体的な検討内容

■デザイン・施設配置
（舗装、植栽、照明、横断抑止柵及びその他の道路付属物、占用物件等）

■道路空間の利活用に向けた事業スキーム
（活用手法・維持管理の役割分担等の検討）

■次世代モビリティの導入を見据えたインフラ・施設配置
（道路標識や路面標示、モビリティポート等の検討）

【令和７年度の検討内容】

西新宿グランドモール（4号街路）において、道路空間と沿道街区が一体的なデザイン・施設配置を検討し、デザイン指針を作成

沿道街区連絡会における検討内容

主な検討事項　西新宿アーバンロビー　西新宿テラス　ラボ

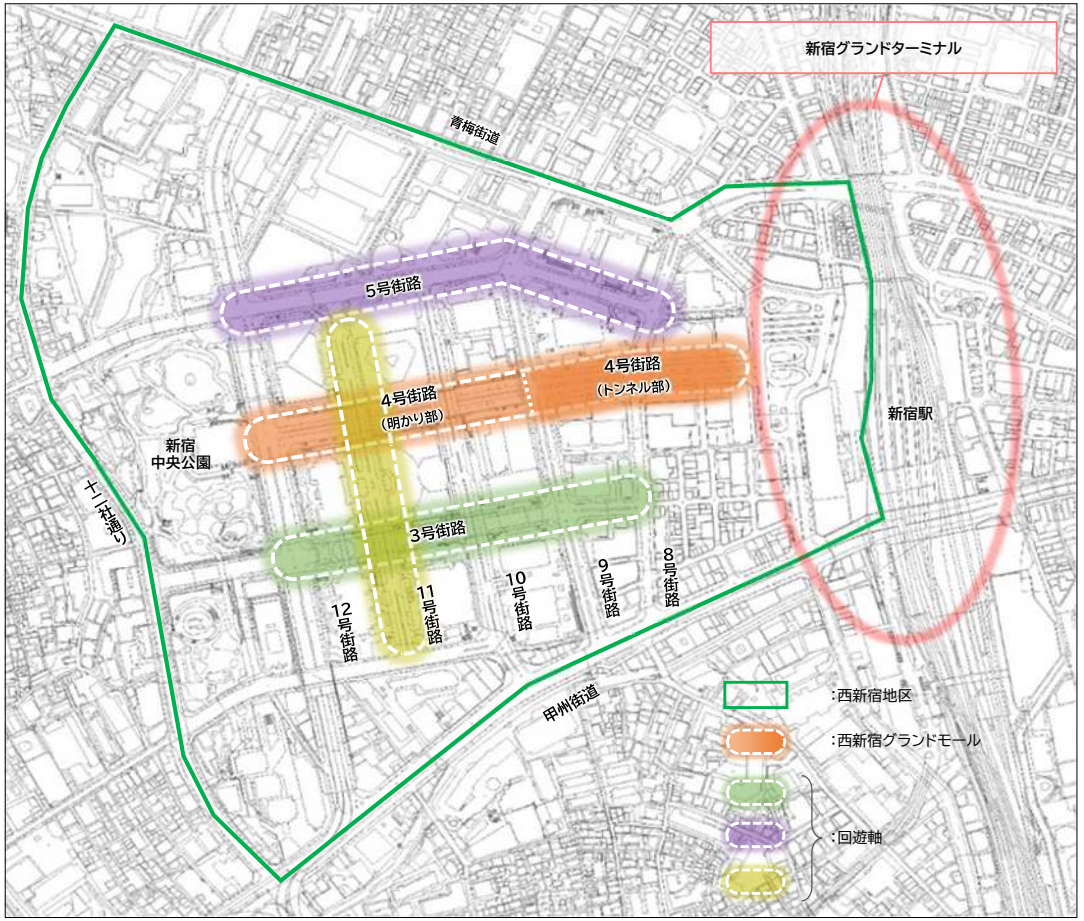
- 各WGの検討状況を西新宿グランドモール・回遊軸沿道地権者に情報共有し、低層部及び公開空地等の再整備や利活用の機運醸成を図る
- 2040年代の新宿のまち全体の再整備に向け、道路空間と沿道街区が連携した「西新宿アーバンロビー、西新宿テラス、ラボ 」の検討を行う

西新宿地区全体での取組

- 新宿駅直近地区再整備の進捗の共有
- 新宿駅東口など、新宿駅周辺エリア全体との連携検討
- エリア防災（都市再生安全確保計画など）、環境・エネルギーに関する検討
- 各街路の計画と事業の進捗の共有

グランドモール明かり部での取組

- 4号街路空間再編検討の進捗の共有
- 官民連携による課題解決、将来像実現の検討（6街区、公園、街路一体でのモデル検討）
- 得られた知見を西新宿地区全体へ展開



【令和７年度の検討内容】

4号街路明かり部関係者会議（6街区、公園管理者、道路管理者）を実施し、道路空間のデザインや施設配置等の検討状況を踏まえ、沿道街区の再整備や利活用の機運を醸成

西新宿スマートシティ協議会における検討内容

主な検討事項　ラボ　まちの運営・デジタル

- **まちの課題解決や魅力向上に役立つスマートサービスの着実な実装**
- **多様な人々が参加する地元主導のまちづくりコミュニティの充実**
- **エリア内の様々な都市情報を活用するデータ利活用の推進**

まちの課題解決や魅力向上に役立つスマートサービスの着実な実装

- スタートアップ企業などに対し、先端技術の実験・体験の場や機会を創出
- 都市のデジタルツインを活用し、未来の都市像を可視化するなど、市民や企業等の合意形成や意思決定を支援

具体的な検討内容

■デジタルツインを活用したウォーカブルなまちづくりの検討支援
■スマートサービスの導入方法の検討
■公開空地の積極的な使用

多様な人々が参加する地元主導のまちづくりコミュニティの充実

- デジタル技術を活用して、まちのニーズを把握・共有し、課題解決に向けて、就業者や来街者、居住者、学生など西新宿を訪れる誰もが参加できるコミュニティを形成
- 形成したコミュニティを活用し、市民や企業等がまちづくりに参加できる機会や場を創出
- まちの魅力、災害情報などを効果的に発信

具体的な検討内容

■LINEコミュニティ等を活用した市民参加型の取組の推進
■双方向コミュニケーションの実践
■誰もが参加できるラボに必要な機能などの検討

エリア内の様々な都市情報を活用するデータ利活用の推進

- まち全体のエネルギーマネジメントなど、データを活用したユースケースを検討
- 人流・気温データ等の都市情報を活用したまちづくりのユースケースを検討

具体的な検討内容

■スマートエネルギー実現に向けた省エネのデータ化及び地区全体の普及啓発
■オープンスペースの利活用に向けたイベントデータの集約及び発信

まちの運営WGにおける検討内容

主な検討事項：ラボ／次世代モビリティ／賑わい・滞在空間／まちの運営・デジタル

● **道路空間及び沿道街区の再整備の検討と連携しながら、道路や公開空地などの一体的利活用、持続可能な管理運営の仕組みなどについて検討**

西新宿地区再整備ガイドライン（P.24）「都市空間の利活用・管理運営に向けた取組」

- 外国人観光客や来街者などに向けた魅力的なコンテンツを創出するとともに、国内外に向けて、新宿駅周辺の魅力や情報のプロモーションを実施
- 就業者や来街者など西新宿地区を訪れる多様な人々の交流を促すとともに、賑わいや文化・芸術的な活動が感じられる取組を実施
- 道路空間と各沿道街区が連携した取り組みを促すとともに、周辺のまちづくり団体との連携を図る
- 官民連携による社会実験等を段階的に行い、道路空間のあり方について検討を進めるとともに、持続可能な運営管理（制度・財源・体制など）を実現するための官民の役割分担を検証

具体的な取組

東京都産業労働局（観光部）や各種団体と連携して、東京のコンテンツ発信やナイトタイムの魅力創出に取り組む
例）西新宿地区におけるイルミネーション、プロジェクションマッピング

環境改善委員会が東京都等との共催により実施してきた社会実験を継続し、街路及び街区が連携した、多様な人々の滞在性や回遊性を検証・実現
例）FUN MORE TIME 新宿（2022～）

道路空間と沿道街区が連携することによる課題解決や将来像実現を検討

＜課題解決＞
エリア全体の回遊性、バリアフリーの実現（段差等が課題）

＜将来像実現＞
デザインや機能の連携、東京の発展を先導する国際的な拠点としてふさわしいストリートの形成

【令和７年度の検討内容】

西新宿地区全体の魅力向上に資するソフトの取組を継続しつつ、「4号街路空間再編」など都市基盤検討と合わせたマネジメント（制度活用を含む）、まちの運営側面からの空間（道路、街区）のあり方について、官民共同で検討